

平成29年度 来村者動向アンケート 調査報告書

来村者の、来村目的・来村方法・宿泊の有無・宿泊先・購買等

I・調査概要

1. 調査方法

(1) 調査日

平成29年8月～平成29年10月

(2) 調査方法

来村者への直接ヒアリング

(3) 調査対象

来村者全体

(4) 調査対象人数

257人

(5) 設問数 12問

1. 住まいについて

2. 性別・年齢

3. 来村目的

4. 来村人数

5. 来村延べ回数

6. 来村時の交通手段

7. 宿泊日数（予定）

8. 宿泊先地域（設問7 回答者）

9. お土産の購入

10. お土産の購入金額（設問9 回答者）

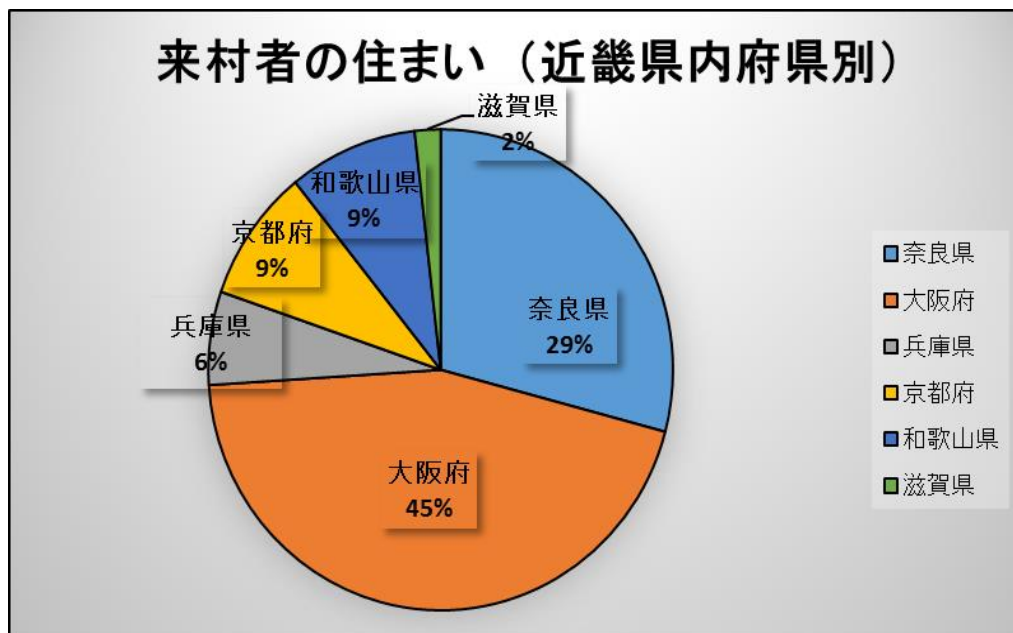
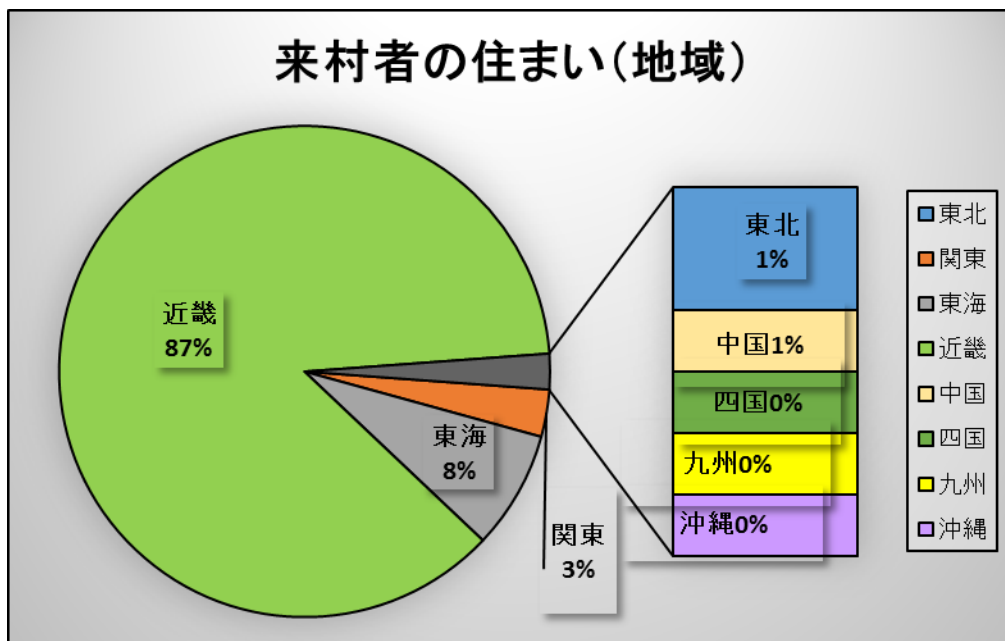
11. 飲食店の利用

12. ご意見・ご感想

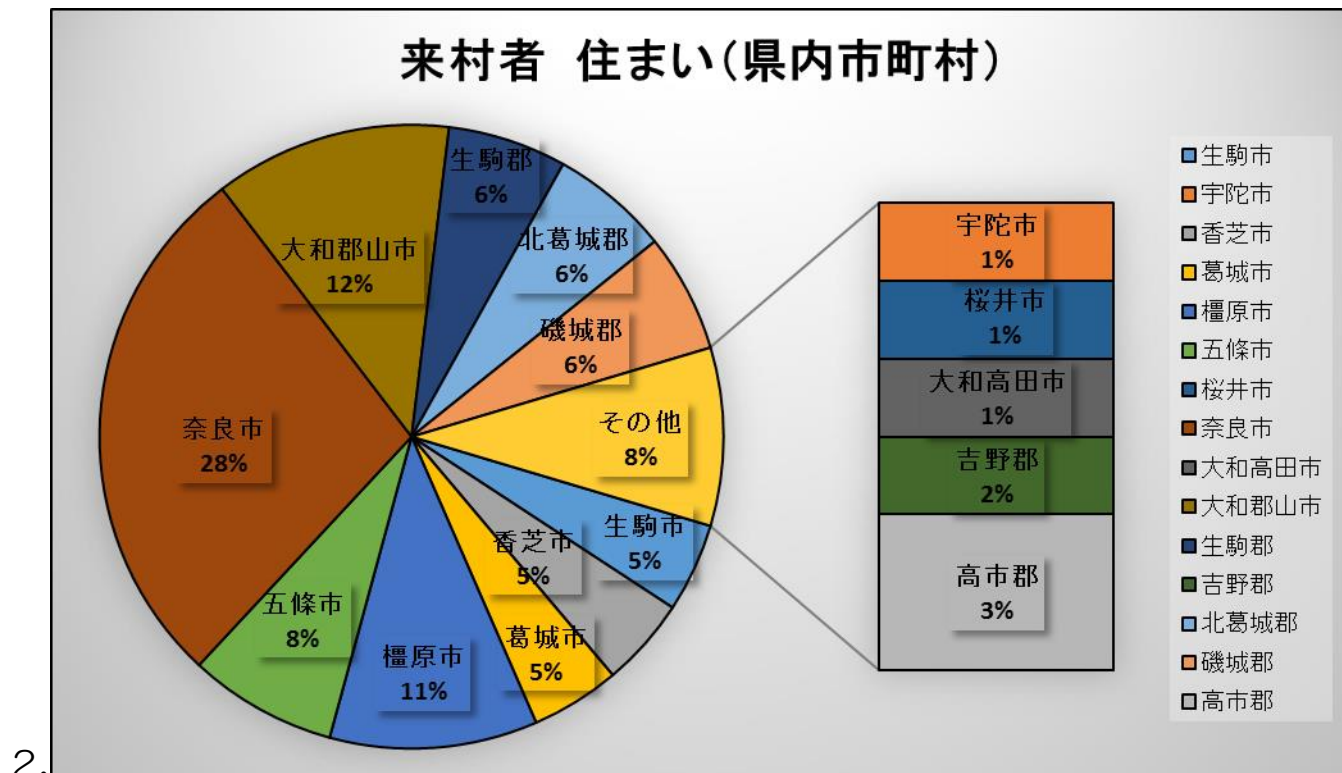
Ⅱ・回答者属性

1. 住まいについて

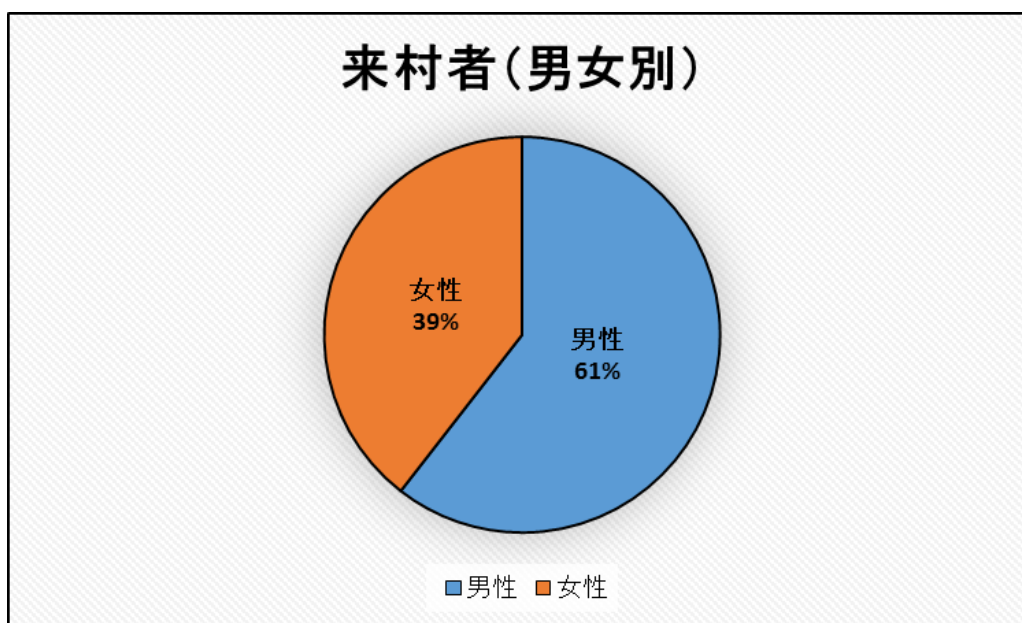
近畿在住の来村者が全体の約87%となり、次いで東海地方・関東地方の順となりました。なお、大阪府からの来村者が全体の約45%となりました。

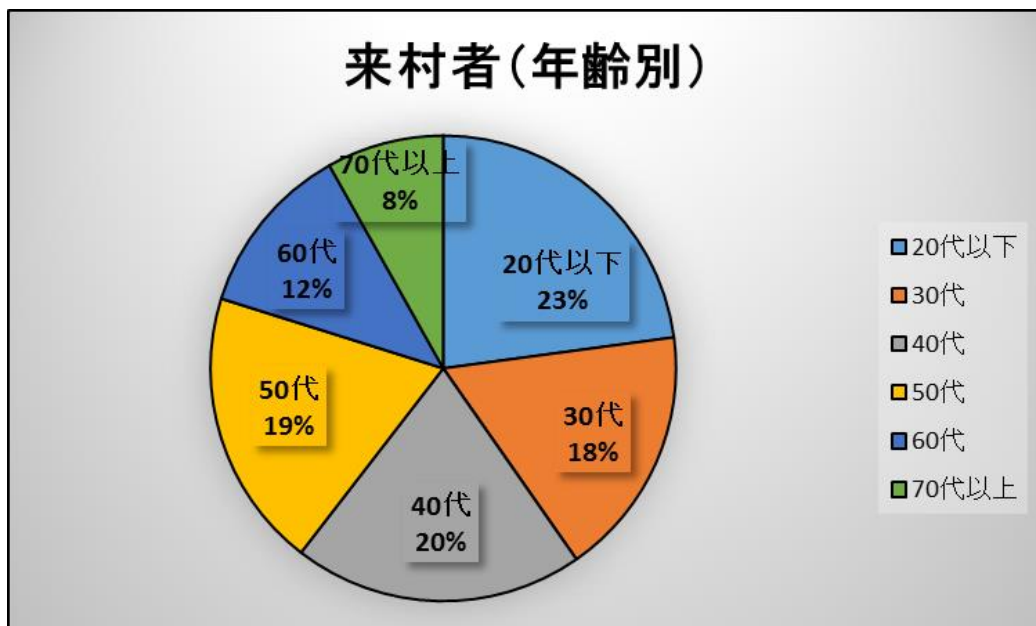


県内来訪者は全体の約29%で、県内全体の比率では、奈良市内が約21%、大和郡山市が約12%、橿原市11%、五條市8%の順でした。また、他6近隣市町村からは5%~6%の比率となりました。



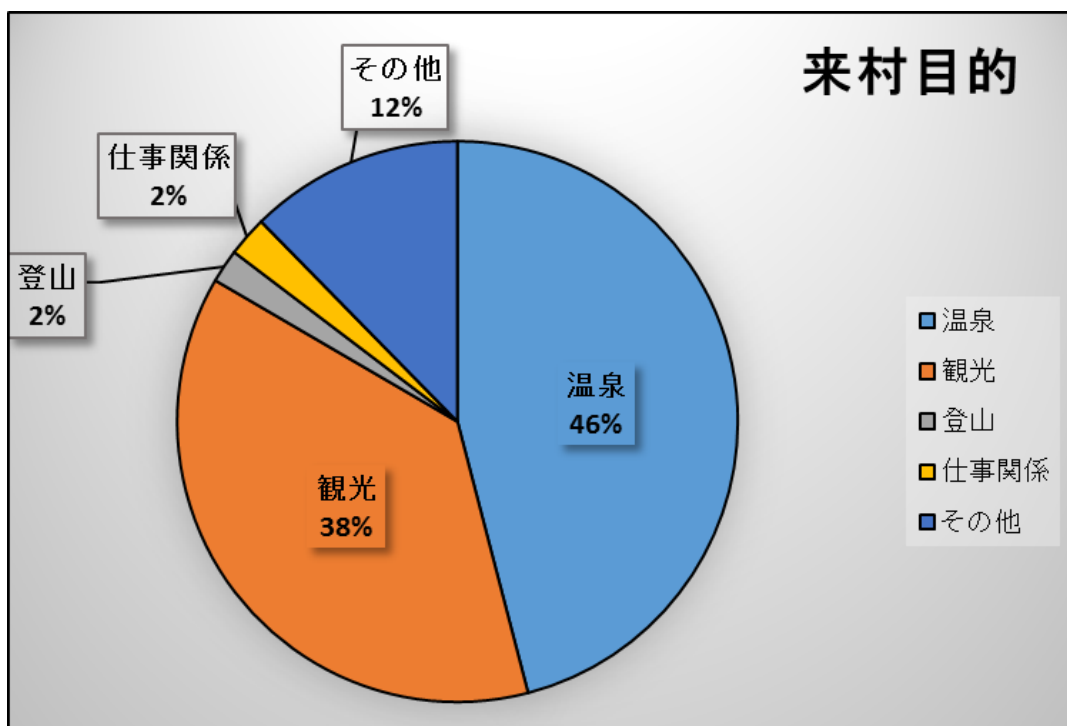
来村者の性別は男性が61%を占め、年齢別では20代が23%、また、30代~50代の各層は20%前後となりました。





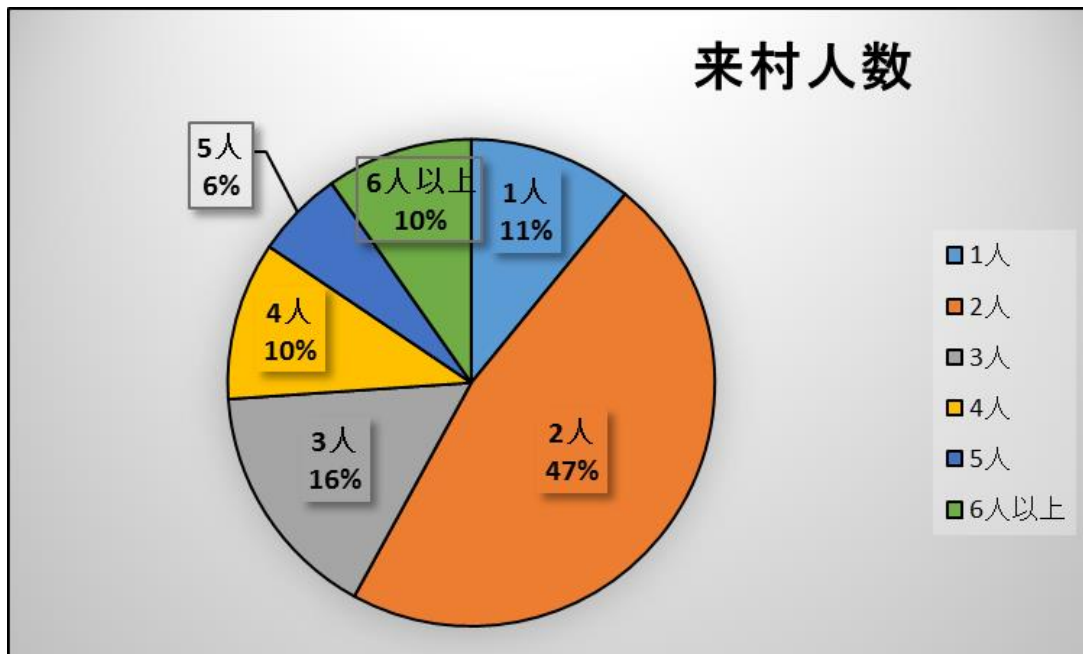
3. 来村目的について

来村者の来村目的は、温泉が46%を占め、ついで観光が38%となりました。なお、その他では帰省・研究・参拝・キャンプを目的に来村されました。



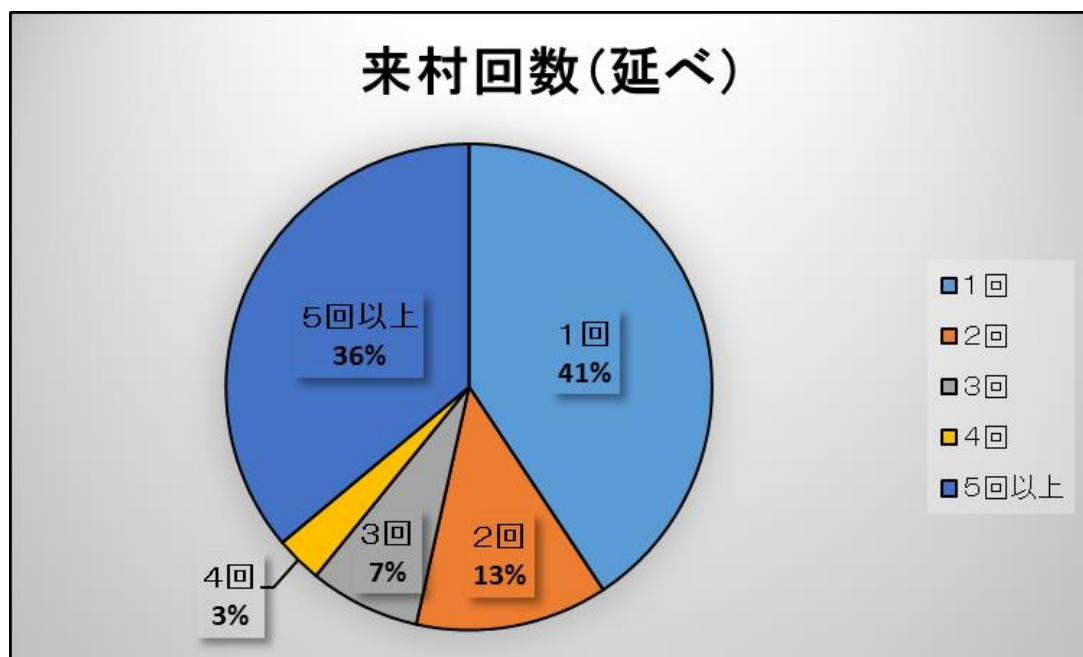
4. 来村人数について

来村者の来村人数は、2人での来村が約47%を占め、3人以上の来村が約16%となりました。なお、昨年と比較して一人での来村者が減少、3人以上での来村が増加しました。



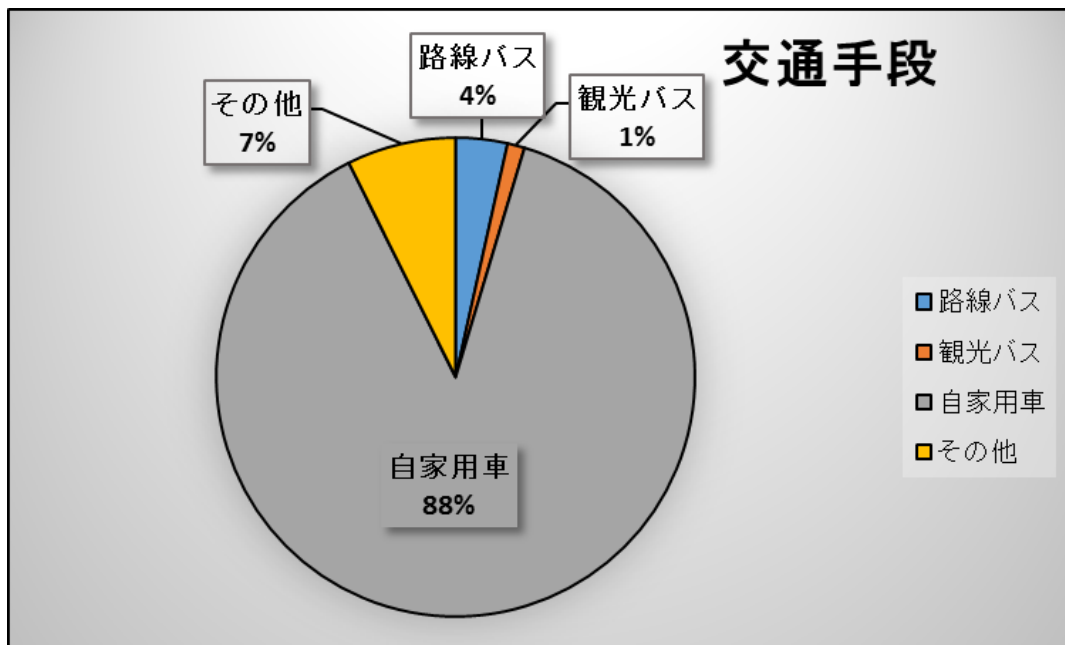
5. 来村回数（延べ）について

来村者の来村述べ回数は、『1回目の来村』が約41%、ついで『5回以上の来村』が約36%となり、ヘビーリピーターが多いことが分かります。



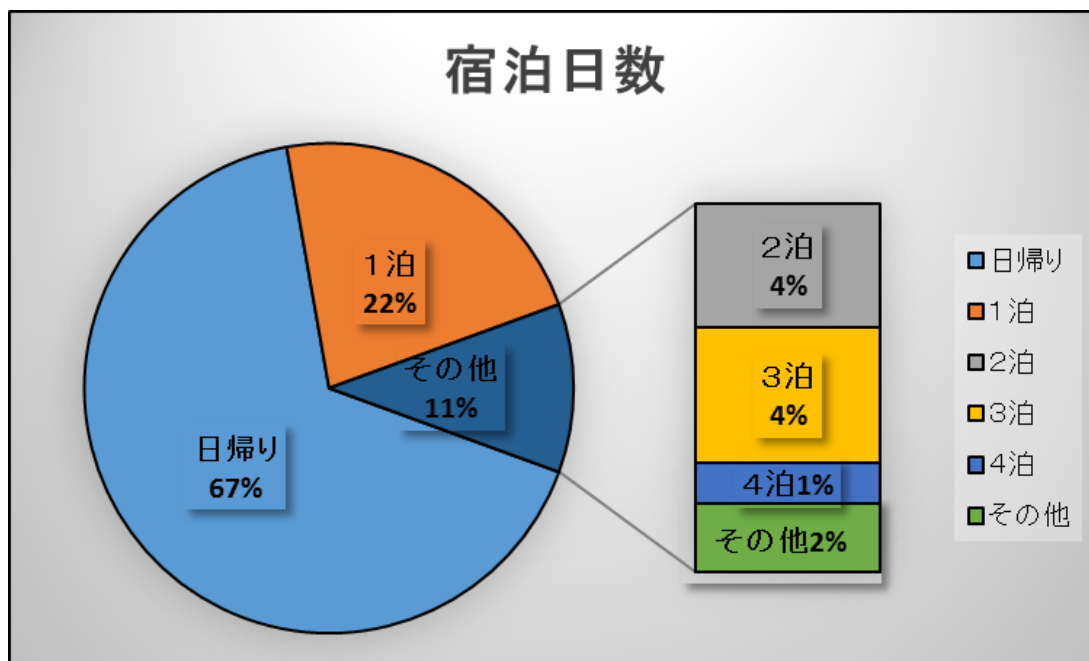
6. 交通手段について

来村者の交通手段は『自動車』が約88%、ついで『路線バス』（約4%）、『観光バス』（約1%）の順となりました。なお、『その他』が7%でした。



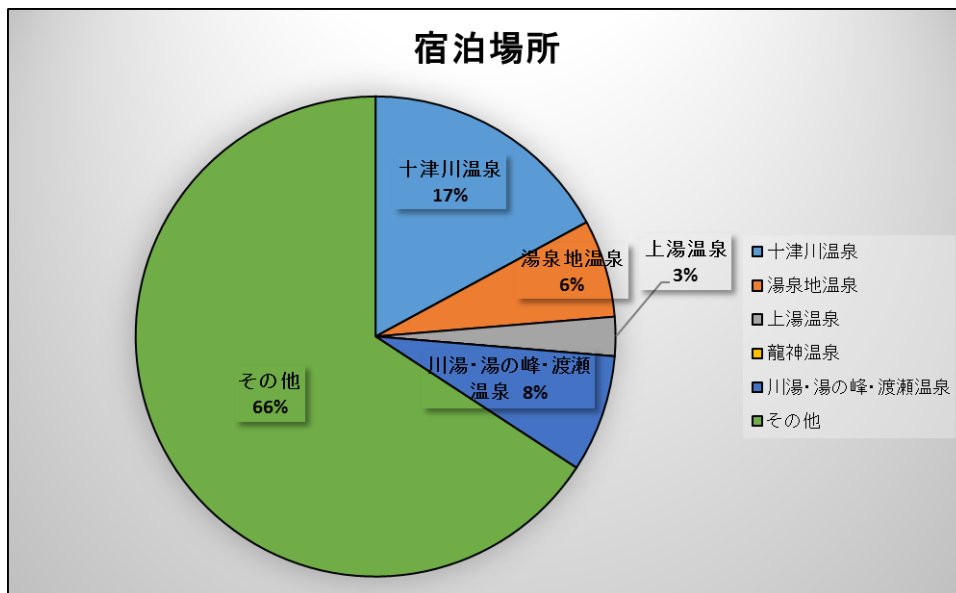
7. 宿泊の予定について

来村者の宿泊予定では、『日帰り』が67%、『1泊』が22%の順となり、『日帰り』の来村者が多いことがわかりました。



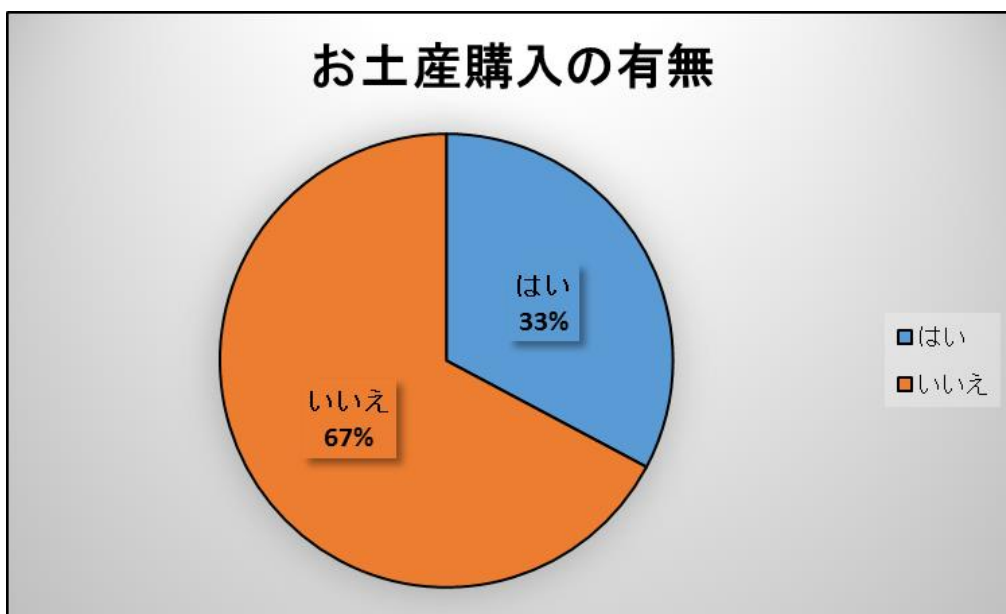
8. 宿泊場所について（宿泊の回答者のみ）

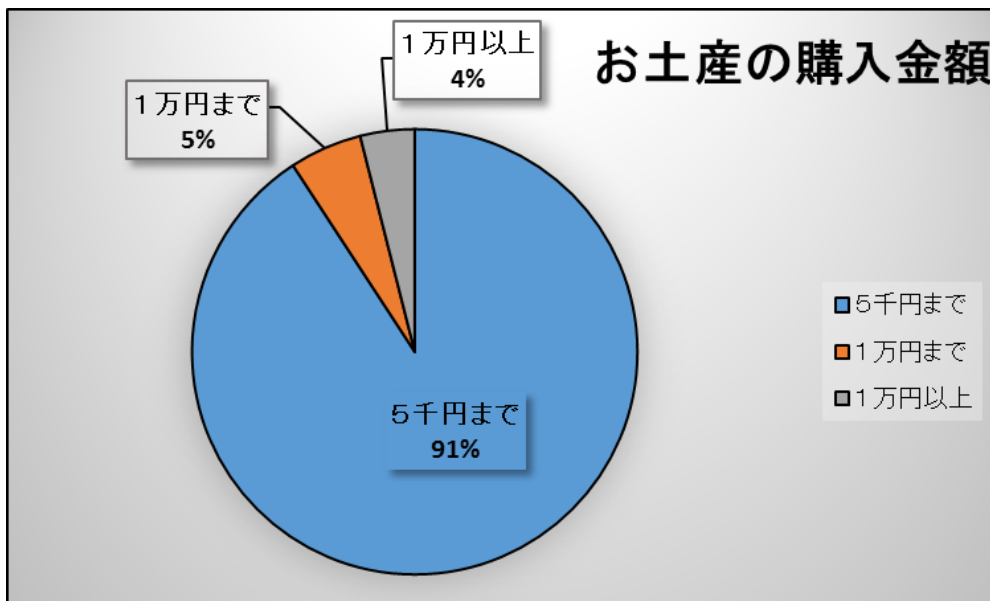
宿泊した来村者の宿泊場所は、その他が66%となり、十津川温泉が17%となり、川湯・湯の峰・渡瀬温泉、湯泉地温泉、上湯温泉の順となりました。今回のアンケートでは、その他が多数を占めました。宿泊先の動向はつかめず、今後は他地域、キャンプ等の選択肢を追加し明確にしていきます。



9. お土産の購入および購入金額について

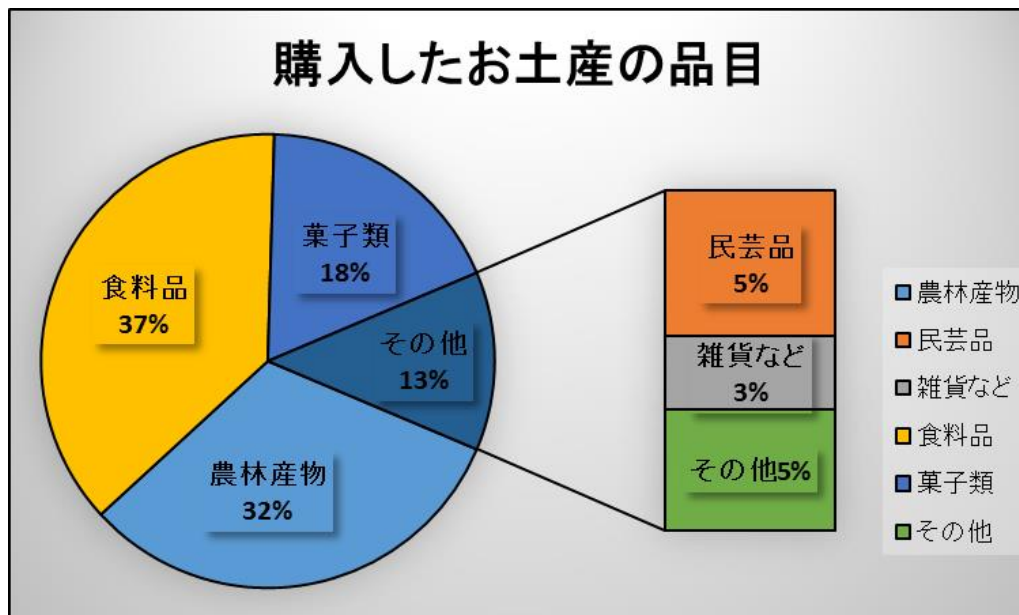
来村者のうち33%がお土産を購入され、金額は『5千円以内』が91%となりました。なお、昨年と比較してお土産物の購入比率は約9ポイント低下しました。





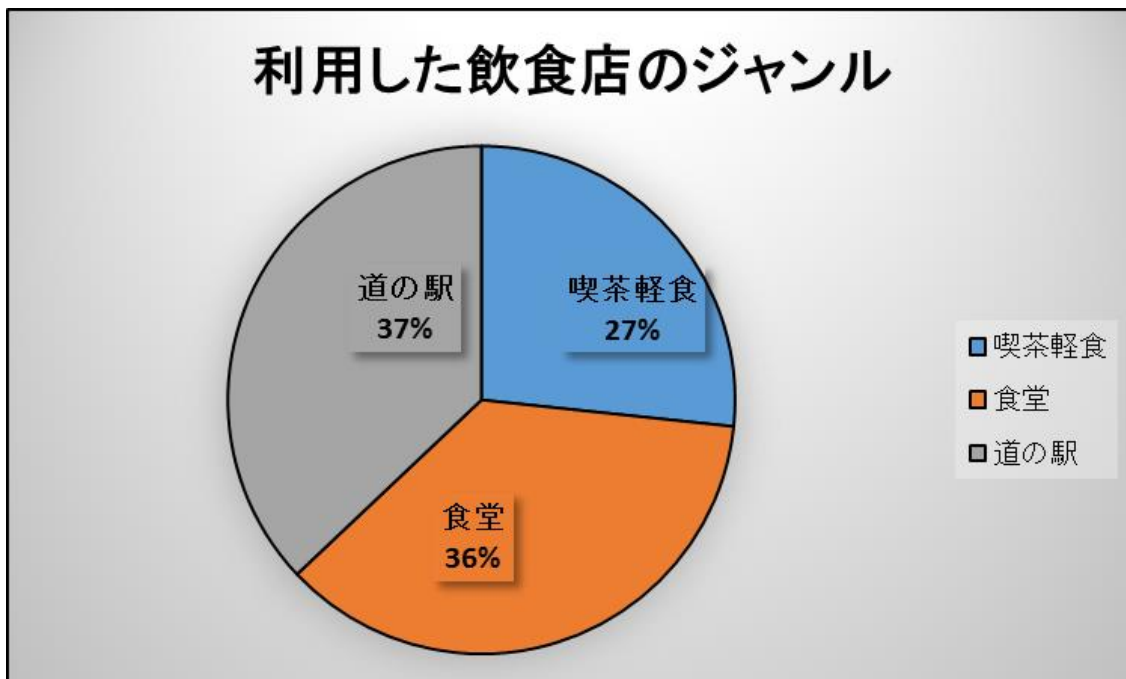
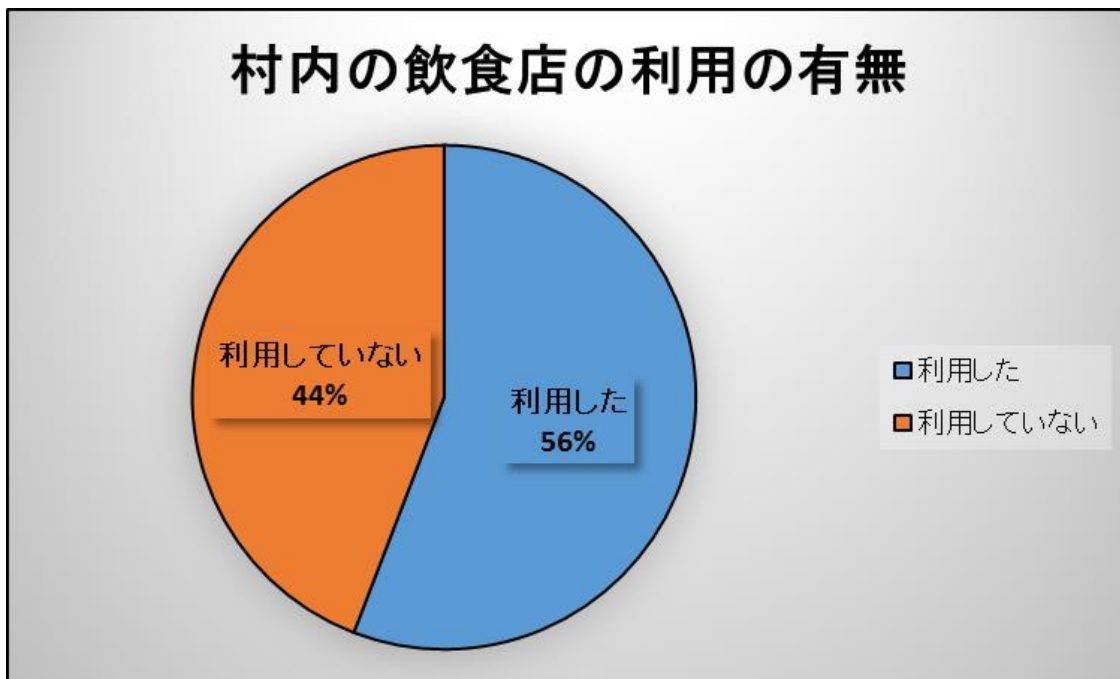
10. 購入品目について（購入の回答者のみ）

来村者の購入したお土産は、『食料品』が37%、『農林産物』が32%、『菓子類』18%となり、食品関係のお土産物を購入されていました。



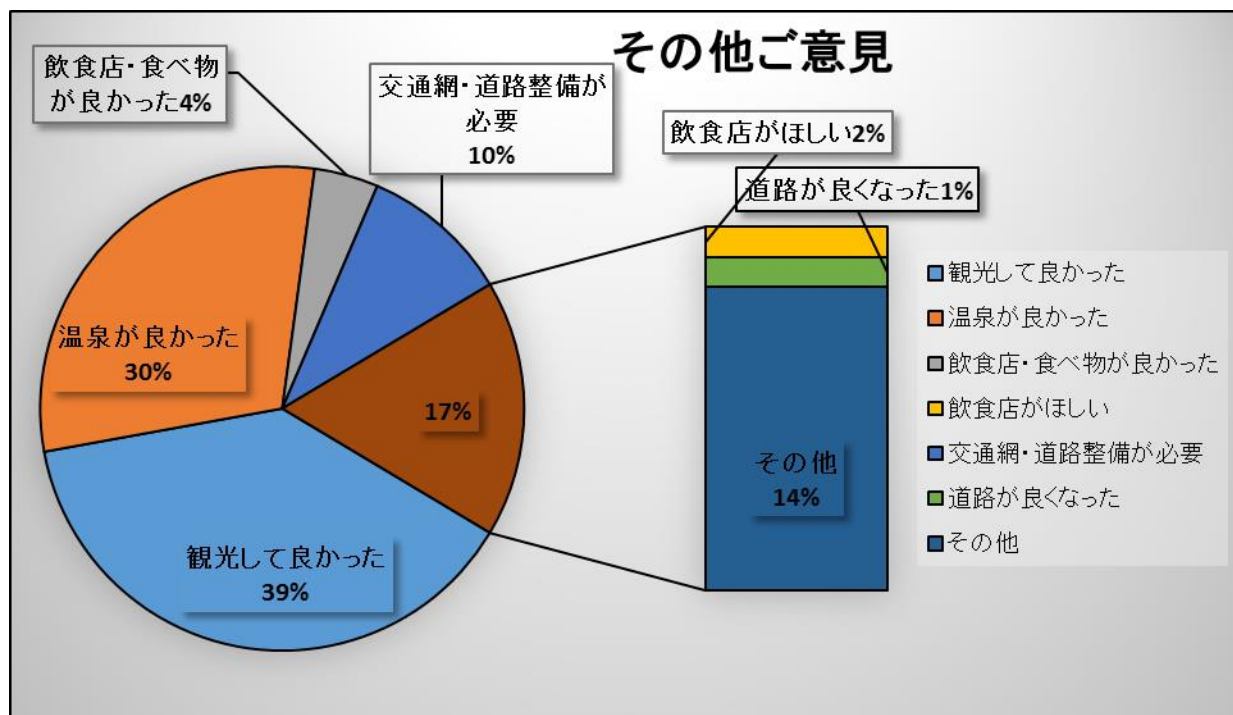
1.1. 飲食店の利用について

来村者のうち約56%が村内の飲食店を利用されました。また、利用先は『道の駅』が37%、ついで『食堂』が36%、『喫茶・軽食』が27%となりました。昨年と比較して飲食店全体の利用率は6ポイントほど低下していますが、『食堂』、『喫茶・軽食』の利用率は上昇しています。



12. その他ご意見、ご感想

その他のご意見では、観光および温泉が良かった等、良好なご感想をいただきました。また、その他では、水害復興の激励、ゆっくり来たい等のご感想等のご感想がありました。



以上